

科目名称：	基礎教養 I (美術学科)	
担当者名：	瀬戸 裕子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>本演習は、短大での初年次教育科目として位置付けられています。コミュニケーション力や論理的な思考に着目し、高校までの受動的な学び方を、能動的で自律的・自立的な学びへと転換し、社会への移行に役立てることが目的です。何に意識を向け、どのように人間関係を作るかを理解し、社会人基礎力(前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力)を伸ばしていくこと、自己の人生をどの様に設計するのかキャリアデザインも目標として社会人としての素養を学びます。そのため、体育祭等の課外行事で他者と協力することも積極的に奨めます。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会人として自立、自律の為には何が必要か 対人の中での自己の特性を理解し表現する力を養い、キャリアデザインを学ぶ</li> <li>2. レポートや表現演習などで、知識や思考を可視化・文章化し、他者にわかりやすく説明できる力を養う</li> <li>3. グループワークに取り組む事で他者との協働意識の醸成と、実践に向け社会人基礎力を養う</li> </ol>		

留學生別科	ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与の方針)	重点項目
DP(1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	○
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身についている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)			50	50	100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
全学DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容 (内容・経験年数を記載)
なし	

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画		事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回	学長講話、オリエンテーション講義概要と目的共有を図ると共にレポート提出と事前事後学習の定義を確認する	シラバスを読み、授業の概要把握しておく 事後学修：15回で自分は何を得るのか考察	10分
第2回	アクティブラーニング。グループワーク演習： 【ジョハリの窓 自己理解から自己開示】	セルフイメージについて考えておく。 事後学修：印象を司るものは何かレポート提出	30分
第3回	アクティブラーニング グループワーク演習：SGE【価値観の違いを受け入れる】	他者と共感する意味を考えておく 事後学修：合意形成の為に必要点レポート提出	30分
第4回	アクティブラーニング グループワーク演習：SGE【伝達力を試す、情報共有】	組織で情報共有の為に留意点を考えておく 事後学修：共有の為に必須項目レポート提出	30分
第5回	情報リテラシー 社会人基礎力を検索。 データベース活用し情報分析、自己理解促進を図る	社会人基礎力とは何かを検索しておく 事後学修：自己の基礎力は如何かレポート提出	30分
第6回	アクティブラーニング グループワーク演習：SGE【共同絵画、相互刺激】	他者と共有価値を生むための思考を考える 事後学修：シナジー効果を考えレポート提出	30分
第7回	アクティブラーニング グループワーク演習： 【エゴグラム活用で自己理解と他者との相違】	交流分析の知識を調べておく。 事後学修：個性の違い気づきのレポート提出	30分
第8回	アクティブラーニング グループワーク演習： 【金の糸でたどる自分史】	自分史準備の為に下調べと振り返りをする 事後学修：自己の金の糸は何かレポート提出	30分
第9回	アクティブラーニング 個人ワーク： 【コラージュでライフラインを描く】	ライフラインを考えてくる（描いてくる） 事後学修：コラージュして仕上げる	30分
第10回	課題図書「僕を探しに」「Oとの出会い」からグループワーク：感想のシェアとレポート	自己の在り方の探索をしておく 事後学修：読書感想と自己本構想レポート提出	30～60分
第11回	自己表現演習 個人ワーク：自分の1冊を創る構想プレゼンテーション	作業のための資料の準備をしておく 事後学修：自己の一冊を作成	60分
第12回	アクティブラーニング グループ&個人ワークキャリアデザインと人生設計	自己の働く意味を考えておく 事後学修：生涯発達レポート・ビジョン作成	30分
第13回	職業人講話 ロールモデルから学ぶ	講師の専門分野について事前に調べておく 事後学修：先人の生き方から学ぶレポート提出	60分
第14回	プレゼンテーション【出版記念スピーチ】40名	プレゼンテーションのための原稿準備、練習 事後学修：パフォーマンス評価のレポート提出	60分
第15回	プレゼンテーション【出版記念スピーチ】40名	プレゼンテーションのための原稿準備、練習 事後学修：パフォーマンス評価のレポート提出	60分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。  
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)もしくは事後の考察レポートをまとめることになる。

#### 成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。  
提出課題及びレポート50%（10回のレポート提出各回5点） 授業への積極的関与30%（発言・集中度・取り組み姿勢）  
プレゼンテーションの内容20%（2回実施・各10点）

#### 課題に対するフィードバック

授業内プリント、提出課題は評価後返却

#### 教科書・参考書

理論と実践で自己決定力を伸ばすキャリアデザイン講座 第3版 日経BP社